

平成30年度 全国体力・運動能力、運動習慣等調査における

北九州市立 白野江 小学校の結果分析と今後の取組について

スポーツ庁による「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」について、平成30年6～7月に、5年生を対象として、「体力・運動能力」と「運動習慣等」についての調査を実施いたしました。

この度、本年度の調査結果を分析し、今後の取組についてまとめましたので、お知らせいたします。

本結果は、学校の現状を知っていただくとともに、ご家庭での取組の参考にしていただきたいと思います。また、運動習慣については、学校のみでなく、家庭で運動を一緒に「する・みる・話す」ことが大切です。本校では、運動習慣の確立と授業の充実により、総合的に体力の向上を目指しています。ご家庭でも運動習慣の確立に向けた取組の充実をお願いします。

※本調査により測定できるのは、体力・運動能力の特定の一部です。

1. 調査の目的

- (1) 子どもの体力等の状況に鑑み、国が全国的な子どもの体力の状況把握・分析することにより、子どもの体力の向上に係る施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- (2) 各教育委員会、各公立学校が全国的な状況との関係において自らの子どもの体力の向上に係る施策の成果と課題を把握し、その改善を図るとともに、そのような取組を通じて、子どもの体力の向上に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
- (3) 各公立学校が各児童の体力や運動習慣、生活習慣等を把握し、学校における体育・健康に関する指導などの改善に役立てる。

2. 調査内容

(1) 実技に関する調査

[8種目] 握力、上体起こし、長座体前屈、反復横とび、20mシャトルラン、50m走、立ち幅とび、ソフトボール投げ

(2) 質問紙調査

運動習慣、生活習慣等に関する質問紙調査

※ 本校の5年生は、単学級ですので、個人が特定されるような公表の方法については、配慮しています。

3. 体力・運動能力に関する調査結果の概要

全国・本市の実技調査の結果

<男子>

本年度の結果	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ソフトボール投げ	体力合計点
全国	16.54	19.95	33.31	42.10	52.15	9.37	152.24	22.15	54.21
本市	16.69	20.49	33.79	42.59	55.22	9.38	154.29	23.74	55.23

<女子>

本年度の結果	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ソフトボール投げ	体力合計点
全国	16.15	18.96	37.62	40.32	41.88	9.60	145.94	13.77	55.90
本市	16.24	19.41	37.96	40.62	44.39	9.61	147.43	13.93	56.64

4. 運動習慣や生活習慣等に関する質問紙調査結果の概要

質問紙調査の結果分析
<ul style="list-style-type: none"> ○ 運動(体を動かす遊び)やスポーツが好きであると回答している児童は、多いものの、男女の差があり特に女子は学校の体育の授業以外での運動量が少ない傾向である。 ○ しかし、児童の意識としては、健康であるためには運動は大切であると感じている児童は多く、家の人から運動やスポーツを積極的に行うことをすすめられることがあると回答した児童は昨年度よりも増加していることから、体育の授業以外で体を積極的に動かすという経験を多くもつ必要がある。

5. 調査結果から明らかになった、課題解決のための重点的な取組

① 教科(授業)に関する取組(全校で・学年で・学級で)

<ul style="list-style-type: none"> ○ 体育の授業において、準備運動に必ず、「ジャンプアップ運動」や反復横跳びなどの体力向上に関わる運動を取り入れるようにする。 ○ 体育の授業においては、1単位時間の中で25分間以上の運動量を確保するように努める。

② 運動習慣等に関する取組(1校1取組)

<ul style="list-style-type: none"> ○ 晴れの日には全教職員で声かけを行い、外で遊ぶように働きかけるようにする。 ○ 体育の授業だけでなく、休み時間に男女に関わらず「大縄跳び」等全校で運動を楽しめる活動を児童会で計画していくことを継続する。 ○ 休み時間の中でできるような体力向上に関わる運動の時間を設定し(5分間走・ボール運動)等の体力向上を休み時間の中でも図れるようにする。
